

共生・協働の^{むら}農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL.19

「今日も、明日も、10年後も住みたい竹子」を
目指したむらづくり

～^{たかぜ}竹子地区コミュニティ協議会（霧島市）～

県では、農村の活性化を目指し、「人材の育成」「農村環境の保全」「新たなむらづくり」など、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力を取り入れた「共生・協働の農村（むら）づくり運動」を推進しています。

県内各地で、地域の特色を活かした取組が行われ、令和7年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、竹子地区コミュニティ協議会（霧島市）が日本農林漁業振興会会長賞、農林水産大臣賞を受賞しました。



鹿児島県農政部農村振興課

祝

令和7年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
日本農林漁業振興会会長賞・農林水産大臣賞 受賞
たかぜ
竹子地区コミュニティ協議会（霧島市）



令和7年度（第64回）農林水産祭式典
（令和7年11月23日 明治神宮会館）

～「今日も明日も10年後も住みたい竹子」を目指したむらづくり～
郷土愛と支え合いの文化が根付いた地域で、新たな課題に対応するため、
住民参加による実行計画を作成し、実現に向けたむらづくりを展開

竹林整備の様子



規格外品を利用した特産品
梨とぶどうのミックスワイン



東京都のアンテナショップ
「じゃっど☆ラボ」



地域の交流拠点
「ふれあいサロンたかぜバル」



毎年行われるイベント
「竹子ふるさとウォーク」



移住体験施設
「さるくーる竹子」

令和6年度鹿児島県共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、地域資源等を活用した魅力あるむらづくりに取り組んでいる地区等を表彰しています。



農村集落部門

大川内地区コミュニティ協議会(出水市)

大川内清流棚田米をブランド化し、販売することで、都市住民に対して、地区や棚田のPRを実施している。また、「ドライブサロン買い物バス」の運行や「てげてげふれあい助け隊」(有償ボランティア団体)の仕組みを構築し、困りごとの解決に貢献している。



功労者部門

浜田 保 氏(鹿屋市)

永年にわたり高隈地区のリーダーとして地域活動に携わり、高隈地区コミュニティ協議会の立ち上げに尽力し、地域一丸となった活動を推進している。生活支援体制の仕組みづくりや交流人口・関係人口の増加を目指した取組の実施に尽力している。



支援団体部門

うましき里きらら協議会(さつま町)

廃校を活用した「きららの楽校」にて各種取組を実施するとともに、地域グループ「紫陽彩」による地元農産物を活用した福祉弁当やランチの提供を行っている。また、農作業体験や郷土料理教室を開催し、食育活動に寄与している。



農村型地域運営組織（農村RMO）形成取組地区紹介

集落を越えた地域住民が中心となって、「農業や農村の暮らしを守る・支える」ために活動する農村RMOの形成を支援しています。

農村型地域運営組織（農村RMO）※1

出典：農林水産省HP

協議機能 協議会（総会）

（小学校区程度のエリア）

集落協定
集落営農
農業法人
など



自治会・町内会
婦人会・PTA
社会福祉協議会
など

農村RMO形成は、上記のように連携するパターンに加え、農に関する組織が生活支援の取組に着手するものや、生活支援の実施組織が農用地保全に着手するものがある

事務局



（地域住民の共通認識）
地域の将来ビジョン

実行機能

事業の実施



「農村空間を管理」し、農産物供給、景観、レクリエーション等「地域資源」を活用、さらに交流や居住等「生活」の空間として活用。

※1 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）※2の一形態と整理。農林水産省では、令和4年度に「農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業」を創設し取組を推進。

※2 地域運営組織（RMO）

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々を中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。【総務省HPより】

○北山校区コミュニティ協議会【始良市】（R5～7）

分野	概要	要
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の活用方法検討 ヒサカキ等の栽培実証 集落営農組織の設立 	
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 黄金北山筍の加工・販売 竹を活用した新たな加工品の開発 地域資源活用調査 	
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民を招いたランチ会の実証 送迎サービス、見守り活動の検討 	



○郡山農村RMO【鹿児島市】（R7）

分野	概要	要
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 米の定額販売の検討及び試験販売 野菜の有機栽培の検討及び実証 地域ぐるみの耕畜連携の検討及び実証 バイオ炭による竹林資源活用の検証 	



令和7年度「かごしま農村創生塾」を開催

地域資源を有効に活用して、「ひとづくり」や「しごとづくり」など地域の活性化を牽引するむらづくりリーダーを育成しています。

第1回

将来の人口予測からムラを考える(令和7年8月26日~27日)

- **講演** テーマ:「農村に人と仕事を取り戻す」
講師: (一社) 持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩 氏

<主な内容>

- ・人口予測プログラムを用いて地域を診断し、将来の人口予測を行うことが重要。

- **参加者によるワークショップ(演習)**

- ・地域人口と農業就業者の人口分析
→今後の予測と安定化に向けた目標の設定
- ・地域人口の維持に向けた「人口の安定化シナリオ」を作成した上で具体的な取組を検討し、各地域ごとに発表



第2回

むらづくり活動推進研修会への参加(令和7年11月13日)

- **基調講演** 「むらの未来の土台づくり~リーダーからマネージャーへ~」

講師: 大分大学 経済学部
准教授 山浦 陽一 氏

<主な内容>

- ・リーダーは活動などを引っ張っていくよりも、地域の方をサポートし、活動を盛り上げるマネージャーの役割が重要。

- **事例発表1** 東米良地区1000年協議会(宮崎県)

発表者: 事務局長 石川 理恵 氏

<主な内容>

- ・中間支援組織がいることで、関連する様々な団体との橋渡しとなり、想いや資金を繋ぎ、循環を生むことができる。

- **事例発表2** 大川内地区コミュニティ協議会(出水市)

発表者: 事務局長 尾道 睦雄 氏

<主な内容>

- ・「自分たちに合った活動」を大事に小さくはじめて継続しており、15自治会から適材適所、得意分野で活動に力を出している。



地域の取組事例に学ぶ(令和7年11月14日)

- **現地研修**

研修先: うましき里きらら協議会(さつま町)

- ・うましき里きらら協議会の取組紹介
- ・現地視察

- **今後の取組に向けて**

- ・これまでの受講内容を踏まえ、地域で取り組んだことや今後取り組みたいことについて意見交換



活かそう！むらの宝★ビジネス応援事業の取組地区紹介

地域資源を活用した農村の新たなしごとづくりのスタートアップを支援しています。

令和7年度支援地区

■一般社団法人のっちーよ種子島（南種子町）

○取組概要

- ・空き家活用コミュニティ大工育成のための住宅改修ワークショップの実施
- ・コミュニティ大工育成のための住宅活用検討（学生ボランティア宿泊所，コミュニティカフェ）



■竹子地区コミュニティ協議会（竹子っ好調会）霧島市

○取組概要

- ・地域食材を使用した新規メニュー考案
- ・伝統料理・加工品販売のための先進地研修
- ・伝統レシピ集，及び動画の作成
- ・食文化や郷土料理のPRツールの作成



鹿児島大学と連携したむらづくり実践支援

大学と地域が連携し，農村資源を活かした地域活性化へ向けた方策等を検討する支援を行っています。

令和7年度実施地区：
出水市大川内地区コミュニティ協議会

大学による地域課題や 地域資源の実態調査

現地調査

- ・農村生活の体験及び地元の方との意見交換
- ・地域関係者や移住者等へインタビューによる地域課題の情報収集

現地報告会

- ・地区の現状及び課題の分析結果
- ・鹿児島大学生からの提案
「地域資源を活かした地域活性化戦略づくりの提案」

大学からの地域活性化 戦略づくりの提案

●定住促進部会の設置

- ①空き家の実態把握
- ②空き家所有者への働きかけ
- ③移住希望者と空き家所有者の仲介
- ④移住者の受け入れ体制整備

●教育移住拠点としての空き家利用促進 および支援策

試住制度，家賃・リフォームの補助，空き家の探索から定住までの伴走支援，コミュニティ活動への参加支援 等

●移住動機付け交流プログラム

親子留学及び交流イベントの提案



現地調査（地域住民への聞き取り，空き家の調査）



報告会の様子

グリーンツーリズム・農泊の取組について



「農泊」とは、農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。地域資源を観光コンテンツとして活用し、国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と関係人口創出を図ります。

県では、農山漁村地域での修学旅行生の受入や、地域資源を活用したグリーン・ツーリズムや農泊の取組を推進しており、旅行者の安心・安全な受入体制の整備や、各種研修会を実施しています。

かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムの開催

グリーン・ツーリズムや農泊に取り組む地域や、事業者を参集し、薩摩川内市でかごしまグリーン・ツーリズムフォーラムを開催しました。



【基調講演】

テーマ：「あなたの巻き込み力で広がる地域の可能性」

内容：あらかば食堂をはじめとする地域住民との協働によるE' more秋名の活動

講師：一般社団法人E' more秋名
代表理事 村上 裕希氏

令和8年2月16日 薩摩川内市国際交流センター

農家民宿・農家民泊の取組推進

農家民宿の開業促進、体験プログラムや農泊コンテンツに関する研修会を開催しました。

また、農泊実践者による意見交換会の実施、農家民宿へのおためし宿泊の支援など、農家民宿の開業促進を行いました。



令和8年1月26日 南九州市知覧文化会館

農泊実践者の育成



令和8年1月28日 伊集院北地区公民館

安心・安全な受入体制整備

県では、修学旅行等の農山漁村生活体験学習の受入れにあたって、受入側の安全面の意識向上と体験学習の安全性の確保を目的に「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」を制定しています。（令和7年3月 内容の一部改正）

令和7年度は市町村へアンケートによる遵守状況調査を実施しました。



【鹿児島県HP】
取扱指針

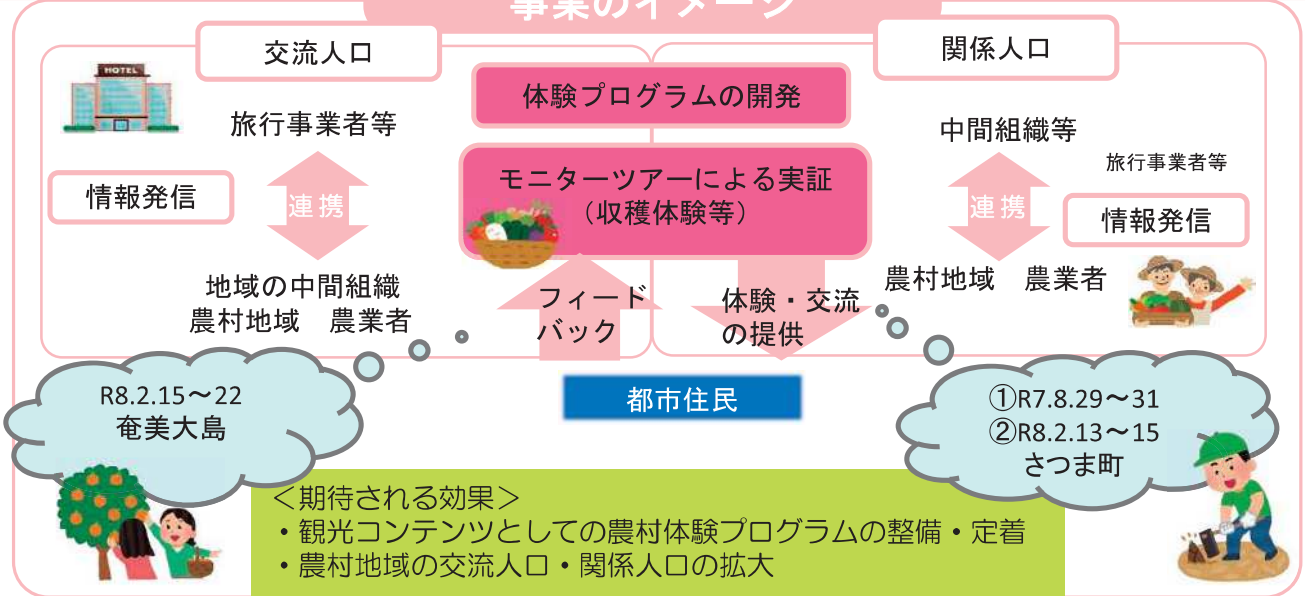
インバウンドの受入拡大

受入に関する研修会を実施しました。

むらとつながる農村体験事業

都市と農村の交流・関係人口拡大による農村集落の活性化を図るため、地域の中間組織を主体に、旅行業者等と農村地域が連携して、地域資源を活用した農村体験プログラムの開発や情報発信を支援しています。

事業のイメージ



モニターツアーの様子inさつま町・奄美大島

奄美大島6地区で体験プログラムを実施



たんかん収穫体験



コーヒー豆の収穫と皮むきを体験!



さとうきびの植付体験



早堀だけのご堀り体験!

たけのご堀り体験



シマ(集落)歩き



コーヒー豆収穫体験



郷土料理づくり体験



竹の器づくり体験



参加学生から奄美大島の魅力を発表



油そうめんとかじゃまめづくり体験!

さつま町特産の竹を使って地元の職人に教わりながら竹の箸とコップを作成!



野菜収穫体験



パッションフルーツ加工体験

棚田地域の振興

県では、棚田地域の保全活動に対する理解や多様な主体による活動への参加を推進するために、都市住民等を対象とした棚田セミナーを開催しました。

令和7年10月11日（土）に、「つなぐ棚田遺産※」に認定されている指宿市尾下の棚田にて、棚田の持つ多面的機能を発見してもらうバスツアーを開催！

※「つなぐ棚田遺産」とは、

棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解促進を図るため、農林水産省が棚田地域の振興に関する取組の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定。



池田湖のほとり
尾下地区に
集合。



棚田のお米で、
かまど炊飯体験！



棚田を探索！



棚田で
稲刈り&
掛け干し体験！



食後は
地域の方
のお話を聞きます。



参加者が
セミナーの様子を
SNSで発信！

棚田の有する多面的機能等への理解促進のため、県内の棚田等で生産された農産物の展示、販売、試食、棚田パネルの展示等を行う「棚田マルシェ」を開催しました。

【棚田マルシェ】

令和7年11月9日（日）生協コープかごしま国分店
（※コープフェスタ2025内）

令和7年11月15日（土）おいどん市場与次郎店

- ・ 県内の棚田、棚畑で生産されたお米、お茶等の展示販売、試食・試飲
- ・ 県内棚田地域の紹介パネル展示
- ・ 棚田に関するアンケートの実施



【パネル展示&アンケート】

令和7年11月29日（土）・30日（日）イオンモール鹿児島

- ・ 県内棚田地域の紹介パネル展示
- ・ 棚田に関するアンケートの実施
- ・ むり絵&缶バッジ作り体験



■棚田マルシェの特設サイトでは、抽選で棚田産の農産物が当たるアンケートやフォトチャレンジ(令和5年以降に撮影したものが対象)も開催。



～フォトチャレンジ投稿写真～

※裏表紙にも掲載

多面的機能支払交付金（水土里サークル活動）について

農業・農村は、食料の生産のほか、国土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成などの多面的機能を有しています。

県では、これらの多面的機能の維持・発揮を促進するため、多面的機能支払交付金を活用した「水土里サークル活動」により、地域共同で行う農用地や水路、農道等の保全活動を支援しています。

※「水土里サークル活動」は、鹿児島県の愛称です。



○活動組織の紹介

高江地区資源保全組合（薩摩川内市高江町）

～次世代へつなぐ地域のつながりを～

1 地域及び組織の概要

高江地区は薩摩川内市の西部に位置し、川内川と南東に連なる山並みに囲まれており自治会、土地改良区、農業委員と協働で活動を行っています。

特に構成員としての自治会の活動は、農地維持活動を通じた地域への啓発活動への効果を生み、農業者・非農業者で共通の価値観を共有しています。



ため池の清掃

2 特徴的な活動内容

① 農村文化・芸能の継承

小・中・高生等と連携して、「太鼓踊り」等の農村文化・芸能の継承を支援しています。



太鼓踊り

② 構成員の直営施工

農道の補修や、側溝の敷設など、一部の作業を構成員たち自らが行うことで、交付金の有効活用を図っています。



側溝の敷設（直営施工）

令和7年度水土里サークル活動シンポジウムを開催

水土里サークル活動の更なる充実・強化を図るとともに、共同活動を契機とした地域づくりへの発展に資することを目的に、水土里サークル活動シンポジウムを令和7年8月21日に開催しました。

- 講演 「～保全会の新たな未来に向けて～」
 - ・ 講師 豊後高田市広域協定
(豊後高田市多面的機能支払協議会)

＜主な内容＞

組織を継続するために行った、広域化による事務の一元化と、工事を行う直営部隊を設置することにより、人手不足の解消が図られた事例の紹介

- 事例発表
 - ・ 高江地区資源保全組合（薩摩川内市）
 - ・ 秋桜環境保全組合（肝付町）
 - ・ 叶環境保全向上支援隊（与論町）

- その他
田んぼダム模型などの会場展示



ふるさと水土里の探検隊

鹿児島国際大学と連携して集落点検を実施し、地域課題の整理や学生による地域活性化策の提案等の支援を行っています。令和7年度は霧島市竹子地区で実施しました。

第1回（令和7年10月4日）



若者の視点を交えた集落点検
学生たちが地域の方と話をしながら、一緒に集落点検を実施



地域課題の整理
集落点検の結果から、学生と地域の方が一緒に地域の「強み」と「弱み」を整理

第2回（令和8年1月18日）



地域活性化策の提案
学生が「強み」の強化策、「弱み」の改善策を提案し、地域活性化の支援につなげる



共生・協働のむらづくり通信 第19号 (令和8年3月発行)

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL：099-286-3108

鹿児島県ホームページ

<https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/tsuusin/index.html>



表紙写真：稲穂と彼岸花（竹子）

裏表紙写真：「かごしまの棚田 フォトチャレンジ！！」より

(左上)湧水町、(左中)日置市草見の棚田、(左下)鹿児島市八重の棚田、(右上)霧島市嘉例川付近、(右中)薩摩川内市内之尾の棚田、(右下)指宿市新永吉の棚田